

長野日報 2019年(令和元年)11月7日 木曜日

「助っ人同好会」工 転写印刷に挑む 駒

駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)の助っ人同好会は、市の子育て支援グループ「ファミリーサポート・ぐりとぐら」の依頼で、同グループのユニホームとなるエプロンにイラストを転写印刷する作業を引き受けた。製品が仕上がり、生徒らがグループの拠点である市障がい者センター高砂園を訪ね、完成品を手渡した。

依頼受けエプロンにイラスト

子どもの一時預かり活動を続け、今年で結成20年となる同グループが4月、節目を記念して新調するエプロンにグループを象徴するイラストを印刷したいと、同校へ依頼したのがきっかけ。工業技術を社会のために役立てる目的で活動を続



ける助っ人同好会が、依頼を引き受けることになった。イラストは、同グループと親交があり、趣味で絵を

描く「さと はつみ」さん
同市がデザイン。助っ人同好会は6月に原画をもとらうと、同校が導入した最新プリンターなどを使い、新たな方法での転写印刷に挑んだ。初めて扱う機器のため失敗もあったが、「品

駒ヶ根工業高の助っ人同好会がイラストの転写印刷を手掛けたエプロン
質向上と生産効率」をテーマに試行錯誤を繰り返したという。

受け渡しは5日にあり、生徒ら5人が訪れた。完成品を手にした同グループの須田秀枝代表は「皆さんを思い出しながら大切にしたい」と感謝。助っ人同好会の横井哉太さん(17)は「情報技術科2年」は「喜んでもらえてうれしい。今後の励みにしたい」と笑顔で話した。
(布袋宏之)

